

広報

第948号

# いながわ

8

月  
平成30年



オシャレな太鼓を元気にドンドンっ!! (環境交流館)

特集

## いながわ野菜の魅力 ～猪名川の恵みをうけて～

あなたの備えは大丈夫?

10

猪名川町の実は…え!? ホンマ!?

19

予防救急講習受けてみませんか?

25

いながわの星空 やぎ座

26

瞬(ときめき) 新開 隆人さん

27

私のオススメ★

龍化渓谷のユクノキの花

28

特派員報告

いながわ100万歩チャレンジ!



夏の暑さに負けず咲くひまわり(柏梨田)

# いながわ野菜

～猪名川の恵みをうけて～

# の魅力

山間で、まとまった広大な農地が少ない猪名川町。限られた土地を有効に使い、四季を通じて栽培される多品目の「いながわ野菜」。今号では、その魅力や生産・販売に関わる人たちの声を紹介します。

## 猪名川町の農業



猪名川町を縦断する清流「猪名川」

町の農業は、猪名川の豊富な「水」を使い

古くから受け継がれてきました

夜から朝方にかけて冷え込み

日中は日差しが届き暖かい

この気候がもたらす「寒暖差」が

野菜の「おいしさや鮮やかさ」を引き出します

それが「いながわ野菜」です

農家の「心」がこもった新鮮でおいしい野菜

猪名川町の豊かな「自然」に育まれ



## まちの農業を支える人たち

そのような中、心をこめて、おいしい野菜を作り、出荷を続けている人がたくさんいます。農業の担い手として、町の認定を受け、積極的に経営規模や販路を拡大している認定農業者、小規模でも、おいしい野菜づくりにとことんこだわる人など、スタイルは様々ですが、それぞれが農業に力を注ぎ、本町の農業を支えています。

## 新たな担い手「新規就農」

近年、「農業を始める」ということが一つの就職先や起業として増えてきています。町内でも、「新規就農」した人たちの一生懸命な姿がみられます。

一言で「新規就農」といっても、色々な形があります。サラリーマンを辞めて農業に挑戦する人や、定年を迎えた第2の人生として農業を始める人。これまでの経験を活用も広げ、様々なアドバイスを受けながら野菜作りに精を出し、道の駅いながわなどへ出荷しています。

新しく農業を始める場合、町内農家などで研修を受け、技術を磨きます。あわせて地元農家との交流も広げ、様々なアドバイスを受けながら野菜作りに精を出し、道の駅いながわなどへ出荷しています。

昨今、日本の農業が抱える課題として、担い手不足や農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加などのほか、生産量の減少や安価な外国産農産物などの消費拡大による食料自給率の低下などがあげられます。これらは本町でも例外ではなく、2000年の農林業センサスでは、町の販売農家数（※）は約570戸でしたが、現在は約380戸まで大幅に減少しており、特に農家の高齢化や担い手不足は深刻です。※販売農家数＝経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家

## 担い手不足という現実

本町域の約9千ヘクタールのうち、農業耕地面積は約432ヘクタール。南部の一部でニユータウン開発が進んだ一方、農村地域も多く残っています。

春にはいちご・キャベツ、夏にはトマト・きゅうり・なす、秋にはしたけ・栗・枝豆・ぶどう、冬には白菜・大根など、四季折々の野菜や果物が作られています。





# 町内産農産物 販売者の声

▼問合せ  
(0765-1111)

イオン猪名川店  
農産主任 赤木 薫さん

イオン猪名川店では、地産地消を推進する取り組みとして町内産野菜をコーナー化して販売しています。お客様に町内産野菜の魅力をお伝えしています。お客様からも、新鮮でおいしいなどと好評を得ておられます。お客様や、リピーターも多くいらっしゃいます。



▼問合せ  
(0766-8709)

産業観光課

道の駅いながわや町内のスーパーで販売されている町内産農産物は、収穫から出荷までの期間が短いため、とても新鮮です。新鮮な野菜は、日数の経過した野菜に比べて味がよく、栄養価が高い場合が多いといわれています。地域で生産された農産物を地域で消費すること、「地産地消」といいます。地産地消を進めることは、消費者の皆さんのが新鮮な野菜を食べらえることにもつながり、地域の農業が活性化され、手不足の解消や耕作放棄地の増加を抑えることにもつながり、という意味があります。

町では、新鮮でおいしい「いながわ野菜」を、まちの未来を担う子どもたちに知ってもらうために、農家やJAの協力のもと、学校給食で使用しています。1学期は朝採りとうもろこし、秋にはぶどうが予定されています。ぜひ、猪名川町の「農家の皆さん」と「いながわ野菜」の応援をよろしくお願いします。

阪急オアシス  
日生中央店

農産部門長 角井 宏大さん

日生中央サピエの西側出入り口から入つてすぐの一番目立つ場所に、猪名川町の地場産野菜を「おひさん市」コーナーで販売しています。毎朝、町内の農家の皆さんが自信を持って育てた野菜や果物が出荷されてくるので、とても新鮮で品質のいいものが揃っています。お客様からも好評の当店看板コーナーです!



地域振興部  
橋本 佳之 部長

阪急オアシス  
日生中央店

農産部門長 角井 宏大さん



J Aでは、地域の農家所得拡大や地産地消運動の活性化などを目指し、町の農家が道の駅いながわの提案や営農のアドバイス、作付の技術研修などをを行い、農家の皆り上げ実績から、例年出荷の切れ目となる時期に生産しやすい作物の農産物の品質や農薬検査、品目や数量、価格などを管理・調整をしています。また、各販売先での売

地で消費すること、「地産地消」といいます。地産地消を進めることは、消費者の皆さんのが新鮮な野菜を食べらえることにもつながり、地域の農業が活性化され、手不足の解消や耕作放棄地の増加を抑えることにもつながり、町の農家や農業が元気になる、という意味があります。

町では、新鮮でおいしい「いながわ野菜」を、まちの未来を担う子どもたちに知ってもらうため、農家やJAの協力のもと、学校給食で使用しています。1学期は朝採りとうもろこし、秋にはぶどうが予定されています。ぜひ、猪名川町の「農家の皆さん」と「いながわ野菜」の応援をよろしくお願いします。



J A兵庫六甲  
猪名川営農支援センター  
営農相談員  
中上 和磨さん



野菜のこと、  
何でも聞いてください！

道の駅  
いながわ

農産物販売センターでは、町の農産物の販売を通して、いながわ野菜の魅力を町内外へ発信しております。多くの来訪者が賑わっています。

▼問合せ  
(0767-8600)



猪名川町の農家は、少量多品目で栽培されている人が多いので、いろいろな野菜や果物が出荷されます。新しい品種や、変わった品種などにもチャレンジし、いろいろなものを出品してもらっています。

私は、道の駅いながわで働き始めて12年目になります。売り場で品出しなどをしていると、お客様から野菜の調理方法から栽培方法に至るまで、野菜について

も嬉しいです。  
これからも道の駅いながわから「いながわ野菜」の魅力を発信していきたいですね。

野菜の見分け方や、作物ごとの旬など、お客様にお伝えし、喜んでもらえることが増えたことがとても嬉しいです。

今年の3月に野菜ソムリエの資格を取得しました。おいしい野菜の見分け方や、作物ごとの旬など、お客様にお伝えし、喜んでもらえることが増えたことがとても嬉しいです。

JAでは、地域の農家所得拡大や地産地消運動の活性化などを目指し、町の農家が道の駅いながわの提案や営農のアドバイス、作付の技術研修などをを行い、農家の皆り上げ実績から、例年出荷の切れ目となる時期に生産しやすい作物の農産物の品質や農薬検査、品目や数量、価格などを管理・調整をしています。また、各販売先での売地で消費すること、「地産地消」といいます。地産地消を進めることは、消費者の皆さんのが新鮮な野菜を食べらえることにもつながり、地域の農業が活性化され、手不足の解消や耕作放棄地の増加を抑えることにもつながり、町の農家や農業が元気になる、という意味があります。

町では、新鮮でおいしい「いながわ野菜」を、まちの未来を担う子どもたちに知ってもらうため、農家やJAの協力のもと、学校給食で使用しています。1学期は朝採りとうもろこし、秋にはぶどうが予定されています。ぜひ、猪名川町の「農家の皆さん」と「いながわ野菜」の応援をよろしくお願いします。



